

摂食嚥下障害看護 認定看護師



「いつまでも安全に口から食べてもらうために」

開催日時 <南予> 令和2年9月26日 <中予> 令和2年12月5日

参加者 <南予> 40名 <中予> 42名

[内訳] 病院：42.9% 高齢者施設：26.2% 訪問看護ステーション：16.7%
その他：14.3%

開催場所 <南予> 宇和島看護専門学校 <中予> 愛媛看護研修センター

講師 市立八幡浜総合病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 清水 義貴

研修会を開催して

<目的>

医療や介護の現場で働く看護・介護職等が「高齢の患者や利用者にいつまでも安全・安心に口から食べてもらうこと」を支える知識や技術を習得し、実践に生かすことができる。

<アンケート結果>

- ・満足度は、100%で「非常に満足」「まあまあ満足」と回答。
- ・理解度は、100%で「よく解った」「まあまあ解った」と回答。
- ・活用度は、98%で「非常に役に立つ」「まあまあ役に立つ」と回答。

<振り返り>

この研修会も3年目を迎え、毎年座学・事例検討・実技の3部構成で研修を行っているが、毎年症例なども変更している。複数回参加されている方もいるが、アンケート結果からも非常に満足度、理解度も高く日常業務にも活用できるという意見が多数であり、目的にもある安全に口から食べることにつながる研修になった。

